

1 学校経営の基盤

(1) 国・県・市町村から求められるもの

- 日本国憲法、教育基本法、学校教育法、学習指導要領等の関係法規に則り、「福岡県学校教育振興プラン」をはじめとする関係教育施策及び古賀市の「古賀市教育大綱－教育立市こが－」および「古賀市教育行政の目標と主要施策」の実現を目指す学校経営

(2) 現代社会および未来の社会から求められるもの

- 予測困難な時代の変化に主体的に対応し、創造的に関わることのできる人間性豊かなたくましい人間の育成を目指す学校経営
- 我が国の伝統・文化を尊重しつつ、国際社会を生き向く資質を育成する学校経営

(3) 保護者、地域から求められるもの

- 古賀市への郷土愛と「誇り」を持つことができる教育を実践するとともに、地域や保護者の思いに立脚した学校づくりを進める学校経営

2 学校の教育目標

ふるさと古賀から学び、未来をよりよく生きる力を身につけた生徒の育成

－ 校訓 － 「向学」 「友情」 「創造」

【学校の教育目標の見解】

- 「ふるさと古賀から学び」とは、生まれ育った、あるいは生活の基盤となっている古賀市、地域、の「ひと、こと、もの」から様々なことを学び、その学びを通して、学校や地域に愛着と誇りを持ち、国際社会の中で生きていく基盤となる「ふるさと意識」を持ち続けること。
- 「未来をよりよく生きる力を身につけた」とは、社会をよりよく生きていくことを目指し、そのために必要な「確かな学力」・「豊かな人間性」・「健康と体力」の3つの「生きる力」の中で、「他者を思いやり協働して生きていく豊かな人間性」を重視し、人や社会と関わり合いながら問題解決能力や創造力を身につけること。

(1) 目指す生徒像

- ア 社会的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度を身につけるために学び続ける生徒 【向学】
- イ 仲間と「共感的な人間関係」を築きながら目標に向かって粘り強く挑戦し続ける生徒 【友情】
- ウ 他者との協働的な学びから自分の考えを持ち、表現することができる生徒 【創造】

(2) 目指す学校像

- ア 一人ひとりの生徒が大切にされた学習活動を通して、確かな学力を伸ばす学校
- イ 生徒同士あるいは教師と生徒の信頼関係を基盤とした温かみ溢れる学校
- ウ 家庭・地域と協働して取り組み、地域とともにある信頼された学校

(3) 目指す教師像

- ア 生徒への愛情に溢れ、教職への誇りと情熱を持ち、自己研鑽し続ける教師
- イ 自己管理と法令遵守を心がけ、自律的に心身の健康を保持することができる教師
- ウ 同僚および保護者・地域と協働しながら創造的に教育活動を実践することができる教師

3 教育課題と経営課題

(1) 教育課題（生徒・教職員で解決を期待したい課題）

- ア 協働的に学ぶことで、自己の考えを広げたり深めたりする学習経験の充実
- イ 自己の役割を果たしつつ他者と協力・協働して、よりよい集団生活を形成していく意欲の高揚
- ウ 違いを認め合い多様性を尊重する人権感覚の涵養と、「相手意識」をもったコミュニケーション能力の向上

(2) 経営課題（学校組織として改善したい課題）

- ア 学校体制で深い学びを実現するための課題設定の工夫と生徒の思考をつなぐ指導技術の向上
- イ 全教育活動を通じた「一人ひとりが大切にされた共感的人間関係」育成カリキュラムの構築
- ウ タテ軸(分掌会議)とヨコ軸(学年会議)の関係強化による目的・目標の共有

4 本年度の重点目標

共感的人間関係を基盤とした協働的な学びから人と関わるよさを実感できる生徒の育成

5 経営の重点

(1) 教育活動の側面

ア 協働的な学びから学力向上を図る授業改善の推進

- 社会や実生活と生徒の思考をつなげる課題設定の工夫と協働解決活動の充実(キャリア教育の視点)
- 生徒に「出番」をつくる生徒指導の3機能を活かした授業づくりの推進
- 生徒の思考をつなぐ指導技術（きく・つなぐ・もどす）の向上
- 対話活動の基盤となる言語能力の育成を図る共通実践（週末課題、「話し方、伝え方」）の充実
- 電子端末(タブレット)を用いた思考(考え)の交流を全教科で実施

イ 「関わるよさ」を実感させるリレーション活動と生徒会活動の充実

- 共感的人間関係を育む特別活動における計画的な「人間関係づくりプログラム」の充実
- 「学びの構え(北中スタイル)」の徹底による資質・能力「想像力・共感力」の育成
 - ・正対する傾聴姿勢
 - ・「相手意識」をもった伝え方
 - ・うなずくなどの反応
- 生徒会の常時活動における「つなぐ取組(挨拶、呼びかけ&反応)」の充実
- 生徒会組織で計画・運営する自治的活動として学校行事の充実
- 学校生活・環境多面調査、生徒実態調査の分析を活かす組織的・計画的な集団づくりの充実

ウ 人の温かさを実感させる人権教育の充実

- 古賀市人権教育副読本「いのちのノート」を道標としたカリキュラムマネジメントの充実
- 道徳科の授業のチームによる指導と評価の充実
- 人権教育推進委員会を中核とする計画的な人権教育の促進
- 人権が尊重される授業づくりの視点の共有化
 - ・自己存在感をもたせる支援の工夫
 - ・共感的人間関係を育む支援の工夫
 - ・自己選択・自己決定の機会を設定する工夫

(2) 組織運営の側面

ア 育成すべき資質・能力の焦点化を図る校内研究の充実

- 研究推進委員会と教科部会の関係性を強化した主題研究の推進
- 研究推進委員会と学力向上プロジェクト会議(新設)の連携による学力分析および対策の推進
- 教科部会を中心とした授業力アップに対する取組の充実(教科内参観、授業研修の日常化)
- 授業規律「学びの構え(北中スタイル)」の生徒指導部による推進、検証、改善

イ 「共感的人間関係」を醸成する教育課程編成の工夫及び教職員の協働力の向上

- キャリア教育の視点でつなぐ各教科・領域におけるカリキュラムマネジメントの推進
 - ・各教科を中心に育成する「資質・能力」と「共感的人間関係」との関係性の明確化
 - ・各領域を中心に育成する「基礎的・汎用的能力」と「共感的人間関係」との関係性の明確化
- 「共感的人間関係づくり」における各領域の関連表(単元配列表)の作成および計画的・組織的な取組の推進
- チーム力向上と指導の一貫性をもたせる取組の充実(協働 WEEK、道徳・学活ローテーション)

ウ つながり補い合う組織体制の構築と業務改善の推進

- タテ軸(分掌会議)とヨコ軸(学年会議)の関係強化により、つながり補い合う組織体制の確立
- 運営委員会をコントロールセンターとして、各常設委員会・会議の系統化と合理化の推進
- 常設委員会と学年会議に研修機能をもたせることで進める日常的研修と OJT の充実(同僚性向上)
- 職場環境を点検・改善を図る「学校衛生委員会」の定期的開催と PDCA サイクルの確立
重点：①コロナウイルス感染防止対策に対する負担軽減
②部活動指導に対する負担軽減

(3) 内外環境の整備

ア 生徒の適応を支える教育支援体制の充実

- 常設委員会の「適応促進委員会」とケース会議による客観的・複眼的な「見解と対応」の統一
- チーム対応によって多面的に見立て・支える支援の充実
- 「もれ、ズレ」をなくす経過観察の徹底と対応修正の日常化
- 外部機関との連携に対する組織的な対応による関係強化
 - ・校外適応教室(あすなる教室) ・児童相談所、古賀市家児相 ・粕屋警察署 ・SC、SSW

イ 特別支援教育に係る協働的な取組の推進

- インクルーシブ教育の視点に立った生徒指導に関する研修の充実
- 特別支援学級担当者における協働体制の構築
- UD(ユニバーサルデザイン)の視点による校内環境整備の促進

ウ 校内における人的環境づくり

- 教職員による「北中五則」の率先垂範の促進
- 教職員による「大人モデル」「社会(集団)モデル」の垂範の徹底
- 校務分掌の「管理部」における責任の所在の明確化と協働性の強化

エ 家庭・地域との連携の充実

- 学校運営協議会の定期的開催による経営の点検・改善の充実
- 働き方改革を踏まえたPTCA活動の効率化の推進
- 学校HPを活用した積極的な情報発信

オ 信頼される教師集団づくりの促進

- 管理職のリーダーシップと職員の同僚性の向上を通して、不祥事防止の取組の充実
- 教職員のメンタルヘルスケアの取組の促進

6 学校経営における評価指標の重点

- 各調査より情意面(達成感、自己有用感)の高まりと学力との相関を実証する <3 P u p>
- 「共感的人間関係づくり」における取組の充実度 <生徒・職員アンケート平均3.2以上>